

# 聖新報

Rocio Koyama  
Redactor  
do "Semanario de S. Paulo"  
Caixa. 58 "BAURU"  
Est. de São Paulo, Brasil

購読料  
一年前金 3,000  
半年前金 1,500  
後金 300  
廣告料  
一段 一回 300  
二段 一回 200  
三回 100  
半年分 全 600  
全年分 全 1,000  
社主兼編輯人 香山六郎

## 殖民生活と文化生活は

### 野の花と造華のちがひだ

先日新殖民の某氏が私を訪はれ、彼が居る地の殖民地管理者の新殖民に對し不遜や無同情の不徳を嘆かれた。

それに對し私は自分の見解を少し述べて見たが、某氏の肚には私の言葉が徹底せなかつた様であつた。それで爰に舊殖民者の道徳と新殖民者の道徳との違ひを述べて見ることにする。

新舊殖民兩者の道徳の違ひは、要するに文化的人間生活者の道徳と原始的人間生活者のそれとの生活環境の違ひから起つて居るものと私は観る。

一キロ平方の地域裡に百幾十人と數ゆる夥しき人間が生きて行くには、人間と人間との間に茶の湯式の滑らかな接觸が有機的に働かねば成らぬ。生活様式をやつて来た所謂文化人の新殖民者から一キロ平方の地域裡に僅か幾十人とまばらにしか住まぬ人間共の生活振を見れば、人間接觸の感覺が甚だウスノロでゴゴチなく想はるゝであらう。そこに禮讓もくなく暖か味も缺けており、人を人とも想はぬ不遜な態度の野生人間と、文化生活者は原始生活を蔑視する、階級思想と文化禮式に慣れた眼からは無理もない観方である。

然し原始林開拓者が四六時中自然相手に生きて行くに努力苦闘し居る環境に文化人も直面した時、是迄人間相手にのみ生きて来た自己の因襲道徳が滅茶々に自己から破壊され脱却し去時機が遂には文化人にも到來するものと私は観じて居る。

其時機が到來した時文化人は是迄冷たい不遜な人間と觀じて居る殖民の性に限りなき人間本然の温か味を味ふであらう。

新殖民は殖民生活者として日が浅い生活環境様式の急激なる變化から神經の昂奮状態にある、路傍から神經の昂奮状態にあり、何うか伯人に對しては酷であり、何うかかする周囲一切のものが痛にさわる、存外ヌボ式になつて居る舊殖民者が退化人の如く氣の毒に觀ゆる、昔大宮人が阿部宗任に對する様な氣分で新殖民者が居るゝ事の時々私は見せつけらるゝ。

成程大宮人の文化生活者は庭に咲く梅の花は麗しいと詳しい、宗任式の舊殖民も自然林に咲く梅の花は就いては大宮人の新殖民が夢想だせぬ薫と其効用を知つて居る者である。

私は新舊殖民の時代相として、先づ「新殖民の悲劇は舊殖民の滑稽である」と述べて置いた。それは新舊殖民の現生活に不慣、慣から起る道徳の違ひである事を茲に一例をとつて述べて見よう。

爰に驛町に遠い一團の新殖民者があつて、其十幾人か、病氣に罹り枕を並べて居る、

新殖民からそれを見れば大した出来事である。

早速醫師を呼んで適當な投薬を施すやいなばと、一刻の猶豫もなく氣をいら立たせる。町より醫師を迎へる位は、文化生活に慣れて居るものから見れば朝飯前の仕事の様に見えるに、殖民管理の舊殖民は、そんな容易い事を臆腔が一つ一向にはかゝしく遣つて呉れぬ。

斯くて新殖民は、舊殖民たる管理を冷然人間と視してしまひ、悲惨な事だと過信するけれど、舊殖民から見れば、病人等は俺等の忠告もきかずたならに生物を曠つたり、渴くまゝに不潔な水を呑んだからの病氣インドアミバと知れてみれば一刻を争ふ危篤の症態でない。遠路大金を費して醫師を態々呼寄せる程の事は無いと過去の體験から感情を冷静にし、來週の使用を兼ねて町に行つた時醫師に相談して來よう位に考へる。

舊殖民の感情が智に働いて冷靜になればなる程こうした事に體驗なき新殖民の感情は益興奮イライラして悲憤の涙を増す、茲に新殖民の無知な悲劇が舊殖民には滑稽になるのである。

新殖民の子供が病んで、醫者に手をとられず投薬もうけずに死ぬる。

奥山開拓の原始生活者にとつては當然の歸結的運命であるが舊殖民の心は諦めが直につくけれど、新殖民の心にはそれは諦められぬ何んと云ふ殘酷な運命であらうおまけに死骸を始末し呉れる葬式も居らぬ。讀經する坊主も居らぬ。葬式墓穴掘り坊主一切を一手でやらねばならぬ。死者も浮ばれまいが、生きて居る者は猶悲慘の極だと、文化生活の道徳から現在の境遇を呪ふ。環境の不文化は殖民管理者の不心節、不道徳から生れたもの、様に思ふ。

舊殖民の心にも斯うした事は過去の辛い體驗として苦痕を焼き即けられて居る。

然し自然開拓者にとつては、葬式屋も坊主も墓穴掘りも一手でやつてのけなければならぬ不便を不道徳な不浄なものとは感じて居ない。

仲間の死を仲間の手で始末し、文化人が贈る造花の代りに野の花を自ら手折つて死者に手向ける事は、自然開拓者に相應しい人間味であるとして居る。文化生活に慣れ切つた新殖民は、醫者と坊主と造花と墓穴掘りが無い事は不道徳

生活の様に考へて居る。要するに原始的殖民生活と文化的人間生活との違ひは、野の花と造花との違ひである。

## Armazem ITOW GUENTO

貨自動車は毎日驛に  
參上致して居ります  
雜貨商  
伊藤元登  
北西線アロミツン驛  
ボンセツン 郵箱一〇三

## Hotel Japonéz

# 館旅本日

前驛ルウバ  
平心山沖

## Dentista

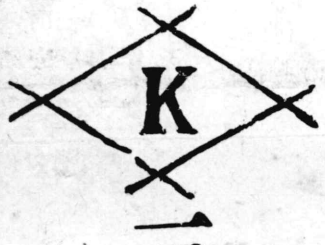
齒科醫 山中信一  
ノロエヌテ線、リンス町、寺院プラサ前

縣協會で移住地を購入致しました、五月から入殖出來ます、内地よりも参ります方が御希望の方には何誰でも御分ち致します、希望の方は左記へ御通知下さい、

熊本縣海外協會 金竹盛重  
M. KANETAKE  
Fazenda Villa Nova  
Est. Lassarvira L. Noroeste

雜貨金物  
雜穀仲買  
土岐兄弟商店  
ノロエヌテ線ビリグキ町  
郵箱 二二四  
電話 一番

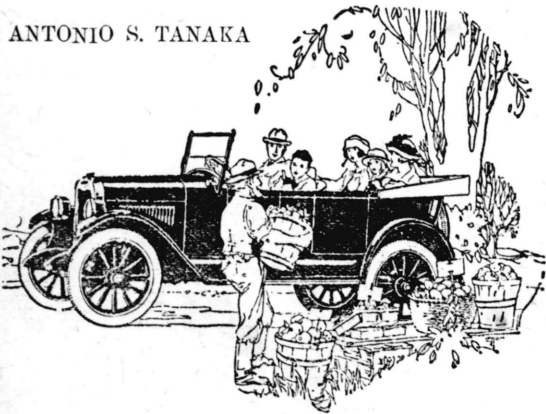
## 三共商會取次賣捌所



削節發賣元  
前田吉太郎  
ルア、セナドール、ダンタス五三  
電話、セントラール、三〇五五  
カイシヤホスタイル、三二五八

## Officina Mechanica

ANTONIO S. TANAKA



各種自動車の應ず  
一般修繕に

パウルー市バチスタ街 田中庄助  
6-20 郵箱九六

## N. Y. K. LINE.

F. S. Hampshire & Co. Ltd.

S. Paulo: Rua Alvares Penteado, 17 Sobrado  
Santos: Rua 15 de Novembro, 147 Sobrado



## 日本郵船會社 帆廣告

日本行には一番早い航路  
(南米日本間約五十日)

かわち丸  
三月中旬

かまくら丸  
四月中旬サントス港發

日本行の便宜  
日本郵船會社は略毎月一回神戶向サントスを航路致します  
他船に較べて日本へ約十日間も早く着きます  
日本へ歸られる船客は南阿の一部を除いて途中御上陸が隨意に出來ます  
衛生設備の整頓、食事の優良、乗組員の懇切等に就き定評があります  
▲詳細は何卒上記代理店へ▲

雜貨小問物  
雜穀仲買

吉田兄弟商店  
ノロエヌテ線ビリグキ町  
郵箱 二七二番



電報欄

●流行性感胃

(伯林七日電) チェルント市に流行性感胃病猖獗し、爲めに各學校は閉鎖し、當局衛生課及同市防疫係は消毒防疫に極力盡瘁中。

●モスコの雪籠り

(伯林七日電) モスコ通信によれば、同市のネーブ河口の航路水路は降雪の爲め全く氷に閉ざされ、諸船舶は動かず只エルシングハウの航路のみ通常の如く動いてゐる由。

●輸出禁止

(華府四日電) 北米合衆國とメキシコ國との國交紛擾危態に陥り、北米はメキシコ國へ硫黄、硫酸の輸出を禁止する旨發表した。

●飛行新記録

(伯林四日電) 飛行家スタンデル氏は、是迄飛行家オリビエールが示した世界レコード飛行距離、速力、積載重量等の記録を破り世界新記録を示した。

●比島の獨立問題

(華府八日電) 北米白聖宮に取沙汰さるゝ處によれば、大統領クリッヂ氏は比島獨立許可に就ては先づ同島總督ドワード將軍の意を聞きし上も尚ほ議會の承認なくしては決行せざるべき模様であると。

●遙拜式

(ロンドン八日電) 九日ウエストミンスター寺院に於て、日本先帝の御大葬遙拜式を擧行した。外交團も參加、伯國より代理大使ドットル、サムエル、デ、ノイザ、レオン、グランシェ氏も出席したと。

X 光線

▼人界は御大葬と大赦、自然界は暴風と破壊、孰れも憂き世の現はれ表裏  
▼高齡八十の元帥御大葬參列中に病むと、時代相の一  
▼御大葬後の祖國議會は雨か風か雲は普選へ〜と動いて居るそう

●プロミツソン驛で低利資金貸出

中債務者側から大不平があり、パウル領事館を素通りしサンパウロ總領事館に訴ねんと息巻いた連中が、あつたと、私憤でなく公憤ならやるが、い。

●御大葬と社會諸相面

●御舟は七重の帆より成り各朱塗玉體に近く寶剣を納めさせ給ふ。  
●御舟は白黒の絹もて掩ひまつり五頭の白黒班牛にて牽きまつり、肅々と葬場殿に向はせらる。  
●宮城御出旅は午前二時、御陵地御着は午前七時(一)御埋葬の瞬間には全國各市各港の軍艦、船舶の汽笛鳴物を一齊に發し弔意を表し奉つた。  
●御柩の次には新帝及び皇族方從ひ給ふた。  
●御道筋を警護し奉る軍兵は三萬人であつた。  
●御道筋の家の軒は黒布を以て掩ふた、悲愁の徴象である。  
●御途中は「我が大君のゆきませる我が悲しみの極め」の曲を古音樂にて奏しつゝ、御進行あつた。  
●大赦令と御下賜金  
●大天天皇御大葬に臨み大赦令を下し贈ひ、諸死刑囚に減刑、多數の重罪犯及輕罪犯人等二萬人が特赦放免された由、尚ほ御下賜金百

●沿道の難路に出した負傷人員は死者二名、傷者四百名餘に上つた

が、特設赤十字出張所に収容施設したものは一千名の多き上り、うち重傷者十一名と。

●御式當日正午迄行方不明の爲め警察へ届出た者十一名と數はらる

●八十歳の高齡の元帥は御行列に扈從すべく出頭中、真夜中の嚴寒にあてられ急性肺炎に罹られ重態危篤の由。

御大葬と社會諸相面

●御舟は七重の帆より成り各朱塗玉體に近く寶剣を納めさせ給ふ。

●御舟は白黒の絹もて掩ひまつり五頭の白黒班牛にて牽きまつり、肅々と葬場殿に向はせらる。

●宮城御出旅は午前二時、御陵地御着は午前七時(一)御埋葬の瞬間には全國各市各港の軍艦、船舶の汽笛鳴物を一齊に發し弔意を表し奉つた。

●御柩の次には新帝及び皇族方從ひ給ふた。

●御道筋を警護し奉る軍兵は三萬人であつた。

●御道筋の家の軒は黒布を以て掩ふた、悲愁の徴象である。

●御途中は「我が大君のゆきませる我が悲しみの極め」の曲を古音樂にて奏しつゝ、御進行あつた。

●大赦令と御下賜金

●大天天皇御大葬に臨み大赦令を下し贈ひ、諸死刑囚に減刑、多數の重罪犯及輕罪犯人等二萬人が特赦放免された由、尚ほ御下賜金百

五十萬圓あり、社會救濟施設事業費に當てらる。

●御大葬恩從の諸役人及團體代表者等でも一萬人を超へた由。

●御道筋に奉送の人民が塔列し、前列に出よう〜との難路の爲め死傷者を出した、七日午後五時迄に百二十名を収容した。

●御當日の奉送人員は無慮百五十萬人と計上された。

●御行列の長さは三哩に續いた。

●御費用高は百五十萬弗に上つたらしい。

●沿道の難路に出した負傷人員は死者二名、傷者四百名餘に上つたが、特設赤十字出張所に収容施設したものは一千名の多き上り、うち重傷者十一名と。

●御式當日正午迄行方不明の爲め警察へ届出た者十一名と數はらる

●八十歳の高齡の元帥は御行列に扈從すべく出頭中、真夜中の嚴寒にあてられ急性肺炎に罹られ重態危篤の由。

第二カトルトリオ

●日本人諸君の代書公證の御求めに應ず  
●バウル市ルイバルボザ  
●廣場公園廣場二二三〇  
●サイコロ街五

●誠意を主旨として御用命に應じます  
●ブネマチの破損は如何なる箇處の修繕も致します  
●修繕後三ヶ月以内に同處の再破損ある場合は無償にて再修繕に應じます  
●北西線プロミツソン驛  
●郵函四四番  
●宮本浩

自動車修繕

●誠意を主旨として御用命に應じます  
●ブネマチの破損は如何なる箇處の修繕も致します  
●修繕後三ヶ月以内に同處の再破損ある場合は無償にて再修繕に應じます  
●北西線プロミツソン驛  
●郵函四四番  
●宮本浩

アルマゼン 農産物

上田商店

ノロエヌテ線  
ブ、アルベス驛真前

清潔閑靜

日本旅館

館主 中村忠吉  
北西線ピリグキ驛

ARMAZEM de Seccos e Molhados

青木商店

北西線リンス驛 寺院ブラサ前

農産物買入

雜穀 岡島仁郎  
仲買商  
ソロカバナ線、セルケラセーザ驛  
郵函拾四番

FOLHEIRO Casa Hayashida

ブリキ細工一切

家のトビの御注文に應じます  
御通知次第見積に參上致します  
ビードロ、額縁、石油引上げ瓦  
瓦斯燈製造も致します  
ノロエヌテ線ベンナ驛  
林田伊十



印醬油

一ど御家庭に  
お試し下さい  
北西線ベンナ驛 平野殖民地  
富士山醬油合資組合  
藤澤豊治郎  
山本字一

聖州義塾

寄宿舎、夜學校、日本語科、葡語通信教授、  
主任 小林美登利  
サンパウロ教會 日曜午後八時  
日伯合同日曜學校 全午後三時半  
場所 聖市ガルボンブエノ街八十五  
R. Galvão Bueno, 85  
Caixa, 2-Z S. Paulo

中矢どいつ集

八重の潮路も、なに辛からう  
戀しお方の、口に入る  
日本から  
來ました

- 淺草のり、櫻ふび、若目、中羽いりこ、  
八千代麩、角寒天、鰹節、丸千いわし、  
厚板昆布、片栗粉、干瓢、豆そうめん、  
千切大根、白王粉、椎茸、さざみ昆布、  
高野豆腐、トゴボー、刺節、千れんこん、  
鯨尾羽毛、するめ、刻鰯、こんにやく粉、

中矢商店

輸入元  
Caixa Postal, 2995 S. PAULO

良い實を得んには

先づたねの擇定を!!!  
毎年多大の好評を得る處で「種子はセギ」に限るとの贊辭を戴いてゐる  
現金割戻券入り  
新種子發賣

新種子發賣

▲南京虫や蚊を退治なさい  
これ位簡單で、確實な、南京虫や蚊退治の方法は他に決してありません。「フリートックス」を使へば其晩から樂々と安眠が出来ます。  
「フリートックス」は最近北米で發明され、南京虫のみ、蚊、蠅等を驅除するに一番確かなる使用法の簡單な藥です。すから非常に評判になつて居ります。

瀬木商店

本店 サンパウロ市  
R. Cons. Putrado, 12 Caixa, 1771 S. Paulo  
支店 バウル市  
Rua Baptista, 1-38 BAURU

當研究所特製品

トラホーム撲滅には一番よくつく。タカ點眼藥を  
齒牙を純白にし口腔衛生を重んぜらるゝ方は芳香衛生ハミガキを  
胃腸病に患るゝ方は。タカ胃散を  
痛みある腫物に苦しむるゝ方はタカ膏藥を御試用下さい。  
(專賣特許品)  
其他小供の強壯劑としてポリビタミナ、消化不良による諸病にポリチアスターゼをお勧め致します。  
(二品共大正十四年專賣特許)

大河内藥化學研究所

向藥品、殺虫、殺菌劑及び醫療機械  
類の御求めに應じます。  
聖市アッセンブレア街三二  
電話 セントラル 四八一九番  
取次所 各地邦人商店に御尋ね下さい



星 浅見哲之助

「知りません、悪魔だ、私はどうしたら善いぞ、私は邦にどうして詫びたら善いか知らん、けがらはいい放して下さい、知りません、悪魔だ、」

「女學校出と聞いたからものと物の解つた者かと思つたら案外解らないものだナ、ウントストン盗んでも盗人だよ、十コト盗んでもやつぱり盗人だ、同じ様に盗しい程色を失つた真者の彼女の顔人の名がつけられるなら男の意地の隅々まで總て覚悟したかの様でとして一層の事大きい事がやりました」

「ハ、ハ、そんな破れ刃物を以て俺の皮と骨を砕く積りか、子供を相対して一層の強姦だと云はな物で俺の皮が破れた日にや今の行き着く處迄行かねばならぬ、温順しく刃物を捨て、しまだから下手に抵抗して怪我でもすりやお互に損だから、温順しく刃物を聞かぬ方が得策だよ」

「知りません、もう兄さんの言葉も聞かぬ耐性はないのです、どうか放して下さい、私は死んでも管ひしません、貞操を守ります。貞操を破られる位なら死んだ方が余程ましです」

「随分馬鹿な奴だ、可愛さ餘つて憎さ百倍とはこの事だ、よく覚えて置け、物の道理を二から二、二から三と子供でも解る様にして聞かしてゐるのに、死んで貞操を守るなんて餘程どうかした馬鹿の女だ。さあ、云ひ出したら行きつける處迄だ、いくら親切に云つて聞かしても馬の耳に念佛だ、よし………こうなりや………」

「いけません」 法城を護る彼女の必死の努力も黙念を満さんとする猛烈なる男の力の前には、物哀れな位弱かつた(何故正義の力も弱いか)彼女は腰の下を何かに強くすくはれたと

意識した瞬間、もう其處にばつたり腰を下してしまつた。 「しまつた」「いけません」とうた上らうとしたがモウ敏雄の息詰る様な息通ひが近づいた。 「兄さん、其處から一歩でも近づいたらこれです………」

切つて居る理性を呼び起して下さいと云ふ事です。私は兄さんを信じて居ります、今日の行爲は悪魔の誘ひに負けた兄さんの内にある本能の行爲である事を……兄さんどうぞ静かに理性を呼び起して下さい、兄さんは決して悪い人ではないのです、悪魔の誘ひに負けた本能が悪いのです、ネ、兄さん」

敏雄は無言の儘大理石の立像の様に身動き一つせずじつと立つて居た。 「………」

「ハ、ハ、そんな破れ刃物を以て俺の皮と骨を砕く積りか、子供を相対して一層の強姦だと云はな物で俺の皮が破れた日にや今の行き着く處迄行かねばならぬ、温順しく刃物を捨て、しまだから下手に抵抗して怪我でもすりやお互に損だから、温順しく刃物を聞かぬ方が得策だよ」

「知りません、もう兄さんの言葉も聞かぬ耐性はないのです、どうか放して下さい、私は死んでも管ひしません、貞操を守ります。貞操を破られる位なら死んだ方が余程ましです」

「随分馬鹿な奴だ、可愛さ餘つて憎さ百倍とはこの事だ、よく覚えて置け、物の道理を二から二、二から三と子供でも解る様にして聞かしてゐるのに、死んで貞操を守るなんて餘程どうかした馬鹿の女だ。さあ、云ひ出したら行きつける處迄だ、いくら親切に云つて聞かしても馬の耳に念佛だ、よし………こうなりや………」

「いけません」 法城を護る彼女の必死の努力も黙念を満さんとする猛烈なる男の力の前には、物哀れな位弱かつた(何故正義の力も弱いか)彼女は腰の下を何かに強くすくはれたと

意識した瞬間、もう其處にばつたり腰を下してしまつた。 「しまつた」「いけません」とうた上らうとしたがモウ敏雄の息詰る様な息通ひが近づいた。 「兄さん、其處から一歩でも近づいたらこれです………」

切つて居る理性を呼び起して下さいと云ふ事です。私は兄さんを信じて居ります、今日の行爲は悪魔の誘ひに負けた兄さんの内にある本能の行爲である事を……兄さんどうぞ静かに理性を呼び起して下さい、兄さんは決して悪い人ではないのです、悪魔の誘ひに負けた本能が悪いのです、ネ、兄さん」

青年募集

文選に要する青年一名を募集します、勉學の餘暇充分ありませう、希望の方は御照會下さい、 聖州新報社



聖州歌壇

俳句

大群を偲びまつる 淡雪や舎人が藁の香のあと 節目のあとに畏し春の雪 砲、汽笛、鐘如月の星高し 眞神の夕焼に吹く二月かな 運華班の牛に二月の水を飼ふ 残寒の松の葉に照る篝かな 御佩刀に散る梅見ゆる篝かな 白梅や男召されし八瀬が里 捧げ持つ裳に春の霞かな

畏みて

御大葬 先帝は白馬諸神従ふ神の旅 尊さやその御陵に後の月 ▲池田男殉死 六道の辻待つ翁や神迎ぬ ▲諒闇 蕭條として街も並木も雪深し ▲元旦 元旦や西瓜断ち割る眞裸 心太炎師が妻を馳走ぶり ▲青蛇汀打浪を笑ふ 蛇穴を出て天下之志

窓

汀 打 浪 チンタイロは潤れた もう無いのだ、 上等の鷺の羽根を以ても 私には歌は綴れない。 窓の枝の蜘蛛は 平氣よく紡ぐ 霧から先を紡いで 悲しみを絞めるのを。

夏の夜更け

峯月 丸石 月天にかゝり銀光端なく照りつ くし 無名の鳥の啼く聲静まれば あやしげにバナ、の裂け葉に戰慄す 一陣の風ひたと止むれば たゞ河水の嘯き吸泣に似たり 閑静平和にして 尙孤獨寂寥の情胸に迫り 懐古を偲ぶ憧憬は 刻一刻と深味を加へ 椰子樹を遠く見すかす時 南國の夏も一入夜更けたり

カマラーダとは

虎石 毒矢生 (下) 經濟學でやかましく云ふと、貯蓄と云ふ事は現在の財を後の利用發展の爲めに貯へるのだとか云ふそだが、彼等にはそんな必要も氣分も無いのは、子女を養ふなんて馬鹿げた負擔に苦しむ事がいやなればこそ山で働くんだけれども云ひたそうな、カマラーダ連中には當然だらう。 彼等は賃銀の少しでも高い處に流れて行く。一寸雇主が賞與の制度でも考へてやらうとしても、二羽の天に飛ぶ鳥よりも、掌中の一羽の鳥の方が値打があると云つた顔をする。それで居て金には執着する、コンタには目の色を變へる一切支拂は山でしないのが斯うしたカマラーダを使ふ者の不文律だ。必ず仕事の終りに町へ出てバガメントをする。其處には酒、女賭博等々が大口をあいて待つて居る、ポーツとしてる間に金を無くしてしまふ。カイ、ノ、マツトといふ事を云ふ。地獄落ちと軌を一にする。 充分遊んで疲れて、ポルツに何もなくなるや又仕事を見付けに一枚のサツコにローバの二三枚と綿毛布の一枚も入れて、フーモ、コイルダとパリーヤ、ミリーヨを大事にしなから山に入るのだ。 彼等カマラーダの共通性格とでも云ふのは、定住性に缺けてること、義務だ責任だなんて、や、こしい事は一切御免を蒙るといふ性質、酒の力で兇暴性を出し易いこと、發展向上家庭の和樂なんて小指の先程も考へつかない、永久獨身主義にこつてる事等々、要するに酒と女が好きで結婚が嫌いで、一ヶ所にじつとしてると先祖に申し譯が立たない様な氣がしてならない一群の労働者、彼等は自由であるが向上、方針が無く老いて行くコスモポリタンである。 ブラジル開發の第一線は、彼等の汗と資本家の金が交換されてぼつ、進められて行く。 以上薄弱な材料と觀察をもとにして書いて見たが、どの程度まで本當らしいか私でも不明の事だ。何故なら相手が各々異つた個性の持主であり、それにきつた個性は冗談になり易くて、とどどこが無かつた様にも思へるしするから。 然し日本移民、耕地労働者等を考へる上に於て何等かの暗示がありさうにも思へる。

Hotel Progresso 館旅尾澤 前 驛 ル ウ バ 七 磯 尾 澤

HOTEL e BAR LIN Kaneco 御宿金子 リンス市入口の坂下にあります 常駐に最も近い處で御座ひます

大坂商船指定制符取次所 末廣 中 忠 太郎 電話 セントラル四五五九 あさひ 秋田 久米 三郎 電話 セントラル四一〇二 大和 坊 健 造 電話 セントラル五八一九 小川 小川 源 右衛門 電話 セントラル四四七六 上地 彌 藏 電話 セントラル五七〇一 東京館 中村 渠 三郎 電話 シダデー四七六

御旅館 伊藤 雜穀仲買 雜貨小間物 山口 商店 山口 兩助 北西線ビレッジキ町 郵便二一七







十年振りて突然 懐しい親子の對面

着伯早々探したが分らず

牛成經つて温かい抱擁

昨年八月渡伯しノロエステ線アした、今じやビラチニガでコロ...

最近十八年間の 入伯移民數

移民收容所の調査

在聖市葡國領事ドットル、ジュゼ、オウグスト、デ、マガリア...

バウル領事館の 遙拜式

既報の如く去る七日午前十一時、葡國領事館にては、領事官...

「聯合青年の聲」

いよゝん發刊する

益々青年の意氣と實を認められ、あるノロエステ線プロミッソ...

大賣出し

開店一週年紀念に 瀨木支店五日間

開店當時が大不況の期であつた、開店一週年に相當する...

瀨木商店の殺虫液

兼て發賣中の瀨木商店の殺虫液は

試用した一邦人の話によると、殺虫液として非常に其の効あり...

バウル市の種痘

バウル市の一隅に天然痘患者

が發生したといふので當局は非常に狼狽し、ソロコバナ線ボツカ...

シネマ値上げ

北西線は勿論、聖州中にも恐

らくなからうといふ入場料三百、一、二のバウル市のシネマも...

賜暇歸朝に際し

ノロエステへの旅

サンパウロ總領事館の春日郎明氏は、今回賜暇歸朝されるに際し...

サンクス便り

去る七日御大葬當日午後八時...

去る七日御大葬當日午後八時、サンクス日本人會々場に於て...

鈴木季造氏の結婚式

明日十二日自宅で...

プロミッソンの結婚式は既報の如く、山女史との結婚式は既報の如く...

日本郵船の河内丸

日本郵船會社の河内丸は三月中旬

日本郵船會社の河内丸は三月中旬、サンクス港出帆、次船鎌倉丸は...

野菜作り

ノロエステ線アラランタン驛及ベ

ノロエステ線アラランタン驛及ベナ驛奥の沖繩縣人小集園地、玉...

増山房吉

北西線ペンナ驛郵便一〇一

北西線ペンナ驛郵便一〇一、石輪製造に經驗ある人を備入...

横濱正金爲替相場

邦貨一圓につき四ミル百六十

邦貨一圓につき四ミル百六十、レリス (二月五日)

測量、製圖、建築、電氣及諸機械のすえ付

凡て迅速、正確、責任を以て

凡て迅速、正確、責任を以て、電氣及諸機械のすえ付、測量、製圖、建築、電氣及諸機械のすえ付...

CONFETARIA, Bar e Bilhar G. Hanada... 御菓子製造所

開店御披露... 玉突臺、上等和洋酒、清涼飲料

CASA OHARA DE IRMÃOS ARAÇATUBA... 大原兄弟商會

Hotel Nippon... ホテルニッポン

Alfaiataria Yabe... 矢部洋服店

仲雜買穀... 村崎豊重





女忠臣藏

碧瑠璃園 (七十)

Main text of the story 'Onna Chūshin' in vertical columns, starting with '何と仰せしや、明後日都出發...'

Casa Anse

Armazem e Machina de Beneficiar Café

商穀雜

安瀬商店

北西線 ビリグキ植民地 アグウア、リンバ區

カフエ精選所

北西線ペンナ驛

吉野旅館

雜穀 珈琲棉 右田辰彦 仲買商

Confeitaria HIRATA

洋和 御菓子製造所

別に日本食料品一切あります ノロエステ線プロミッソン驛 郵函三三一 平田伊平



材木 商家カーザ東京 家具 聖市、ルア、パロン、デ、イタベチニンガニ 杉本芳之助

出張撮影にも應じます

本 田 寫 眞 館

北西線リンス市お寺廣場横町 本 田 安 喜

Hotel Japonez

日本旅館

御便宜を旨とし取計ひます 北西線ペンナ驛カフエーランジャ町 川 尾 利 市 郵函一〇一

MARCENARIA JAPONEZA

Massagi Koga BAURÚ

家具製造

並に販賣

古賀政次

パウル市八月一日街六ノ三番 (シネマ真前)

CASA NISHIMOTO Armazem

買仲穀雜

西本商店

ノロエステ線 アラサッパ驛 郵函二〇八 アグワリンバ

御旅館

松山三太郎

聖市、カンタレイラ街九〇番 電話シダレ七三三六 郵函 一二四三

Hotel Oriental

Armazem de ecocos e Molhados Bebidas Caixa, 47 Tel. 81 Est. PROMISSÃO

東洋旅館

並に平田商店

北西線プロミッソン驛 館主 平田千嘉藏

HOTEL USHIHO

館主 前田吉太郎

指定乗船會社 取次所

サントス市

電話 三三二八

